

報道関係各位

2014年3月

創業 92 年、川崎に根付いて 78 年
チッタグループの歴史は、日本の映画興行の歴史！
そして、川崎市の発展の歴史！

『チッタグループ・歴史ギャラリー』

3月21日(金・祝) 「ラ チッタデッラ」内に開設

JR 川崎駅前の複合商業施設「ラ チッタデッラ」を運営する株式会社 チッタ エンタテインメントや、同施設内の映画館を運営する株式会社 チネチッタ、同じくライブホールを運営する株式会社 クラブチッタなどからなるチッタグループの歴史はとて古く、創業は1922年(大正11年)、東京都荒川区日暮里に映画館「第一金美館」をオープンさせた頃に遡ります。その後、千住や尾久、渋谷など都内各所に次々と映画館をオープンさせ事業を拡大させました。そして、1936年(昭和11年)には、当時人口17万人だった川崎の駅前に進出し、そこでも次々と映画館をオープンさせ、“川崎映画街”を築き、映画最盛期の1940年代には全部で27館もの映画館を運営していました。

その間、関東大震災や第2次世界大戦の空襲で建物の大半を失うなど、度々の不幸にも見舞われながら、その都度直ちに建物を建て直し、街を復興させ、常に人々の活力の源となる娯楽を提供することを第一の使命としてきました。手がけた事業は映画館運営だけに留まらず、ポウリング場やスポーツ施設、遊園地、ディスコ、キャバレー、結婚式場など、その時代時代のニーズに合った庶民向けの様々な娯楽を提供し続け、今日に至っています。

そんなチッタグループ90余年の歴史を、地元川崎の皆様や映画好きのお客様、これまでグループを支えて下さった大勢の関係者の皆様などに知っていただくことを目的に、この度、創業から今日に至る事業の変遷を、年表と当時を物語る貴重な写真とで紹介した『チッタグループ・歴史ギャラリー』を、「ラ チッタデッラ」内に開設する運びとなりました。写真の中には、大正時代の都内の映画館の外観やそこに集まる人々、あるいは昭和初期から現在に至る各時代の川崎映画街の風景など、当時の風俗や文化を知る上でも大変貴重と思われるものが数多く含まれています。

また、同ギャラリーのオープニング記念として、過去の歴史の中で制作された数々のチラシやパンフレット、各種広報誌など様々な資料やグッズを展示した特別展示会も開催いたします。中心となるのは昭和20年代～30年代に発行された映画や各施設宣伝のための印刷物などで、こちらも大変貴重なものが揃っております。

当ギャラリーは入場無料となっておりますので、是非大勢の皆様にお気軽にお立ち寄りいただきたいと思います。



《チッタグループ・歴史ギャラリー 開設概要》

【会場】 ラ チッタデッラ マッジョーレ棟 地下1階

【オープン日】 2014年3月21日(金・祝)

【入場料】 無料

【オープン時間】 9時～24時

◆掲出写真例



日暮里 第一金美館(大正11年頃)



町屋金美館(昭和7、8年頃)



川崎映画街建設地(昭和11年)



川崎映画劇場(昭和17年)



もぎりの女性(昭和30年頃)



三橋美智也・実演ショー
(昭和31年)



第3回川崎市民映画コンクール授賞式
石原裕次郎(昭和32年10月)



映画「アラビアのロレンス」の入場列
(昭和39年)



500人収容の巨大キャバレー
“オスカー”(昭和36年)



《オープニング記念特別展示会・実施概要案》

- 【開催日時】 3月21日（金・祝）～4月6日（日） 11：00～20：00 予定
 【展示内容】 ●昭和20年代発行の“川崎&蒲田映画街週報”（タブロイド判）
 ●昭和20～30年代の各種広報誌、チラシ、パンフレットなど、
 ●昭和20年代～30年代に川崎映画街に來場した俳優のスナップ写真
 ●各種・新聞や雑誌の切抜きなど



日米テレビで製造したテレビ・現物（昭和30年代）



昭和20年代発行の映画街週報（約30部）



川崎蒲田映画街グラフィック（昭和30年代）



500人収容のキャバレー“オスカー”のパンフレット（昭和40年代）

美須鎌会長のアメリカ旅行記（昭和30年代）



森繁久弥が題字を書いた「美須興行」のパンフレット（昭和30年代）

＜この件に関するお問合せ先＞
 (株) チッタ エンタテインメント 広報宣伝部
 TEL:044-233-1934 FAX:044-222-8004

